

きらめき活動助成事業助成金交付申請書
【自立支援「ゆめ」プログラム】

令和 2年 3月 27日

公益財団法人山口きらめき財団

理事長 様

所在地

団体名

ポポメリー

代表者職氏名

代表 藤本育栄

⑩

きらめき活動助成事業助成金の交付を受けたいので、きらめき活動助成事業助成金交付要綱第7条の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1 申請する事業の名称	がんサポートネットワーク事業		
2 助成金申請額	100,000	円	※上限は20万円
3 添付書類 ※揃っているかを確認し、[]に○を付けてください	(1) 団体概要書 (別紙1)	[○]
	(2) 事業計画書 (別紙2)	[○]
	(3) 事業収支予算書 (別紙3)	[○]
	(4) 令和2年度の団体全体の収支予算書 ※(3)とは別に団体独自で作成している書類	[○]
	(5) 会員・役員名簿 (現在のもの)	[○]
	(6) 組織の運営に関する規則等 (定款・規約・会則等)	[○]
	(7) その他申請に必要なもの	[]

<申請事業に関する他機関・団体への補助金・助成金の申請状況> ※予定も含む

機関・団体名		
助成事業名・金額		

<事務担当者連絡先>

住所	[REDACTED]		
職氏名	役職 (代表) 氏名 (藤本 育栄)		
T E L	090-4808-8081	F A X	[REDACTED]
メールアドレス	popomerrypopo@gmail.com		

※連絡先には日中必ず連絡が取れる箇所や携帯電話の番号を記入してください

(別紙1)

団 体 概 要 書

ふりがな	ぽぽめりー	ふりがな	だいひょうふじもといくえ
団 体 名	ポポメリー	代表者職氏名	役職：代表 藤本育栄
団体所在地	[Redacted]		
設立年月日	令和元年12月15日	会 員 数	5人
団 体 の 設 立 趣 旨 や 活 動 目 的	現在、がんにかかる可能性は2人に1人といわれ、がんに関するイメージから精神的不安や身体的苦痛が伴う。がん患者の居場所を作り、家族だけでなくがんに関心のある人すべての人に理解や知識を広め、がんになっても前向きに自分らしく生きられる社会を目指す。	活動分野 ※該当する活動分野に全て☑を付けてください。	<input checked="" type="checkbox"/> 保健、医療または福祉 <input type="checkbox"/> 社会教育 <input type="checkbox"/> まちづくり・中山間地域づくり <input type="checkbox"/> 観光振興 <input type="checkbox"/> 学術、文化、芸術、スポーツ <input type="checkbox"/> 環境保全 <input type="checkbox"/> 災害救援・防災 <input type="checkbox"/> 地域安全 <input type="checkbox"/> 人権擁護、平和の推進 <input type="checkbox"/> 国際交流・国際協力 <input type="checkbox"/> 男女共同参画 <input type="checkbox"/> 子どもの健全育成 <input type="checkbox"/> 情報化・科学技術 <input type="checkbox"/> 経済活動、職業能力開発 <input type="checkbox"/> その他
活 動 地 域	県央部（主に山口市）		
3 年 間 の 主 な 活 動	平 成 30 年 度	[Redacted]	
		団体の事業規模（事業費総額）	円
	令 和 元 年 度	[Redacted]	
		団体の事業規模（事業費総額見込）	円
	令 和 2 年 度	「がんピアサポート」「ピアカウンセリング」「相談ボランティア養成講座」 「QOL（生活の質）を保つための相談」 「座談会」「交流会」「学習会・研修会参加」「がん患者団体との交流」 「ワークショップ開催」	
		団体の事業規模（事業費総額見込）	240,000 円
令 和 2 年 度 以 降 の 活 動 計 画	1年後【居場所の確保】座談会山口市2か所目を開設 2年後【居場所の周知】啓発活動、QOL向上プロジェクト企画 3年後【事業展開】QOL向上プロジェクト展開、がん教育外部講師参加 4年後【事業継続】活動周知とボランティア人員拡充 5年後【事業定着】NPO法人化計画による定着、常設場所設置		

※活動実績、活動計画には、助成事業に申請しようとする事業以外のものも含め、団体の中心的な活動を記入してください。活動実績がない場合には空欄としてください。

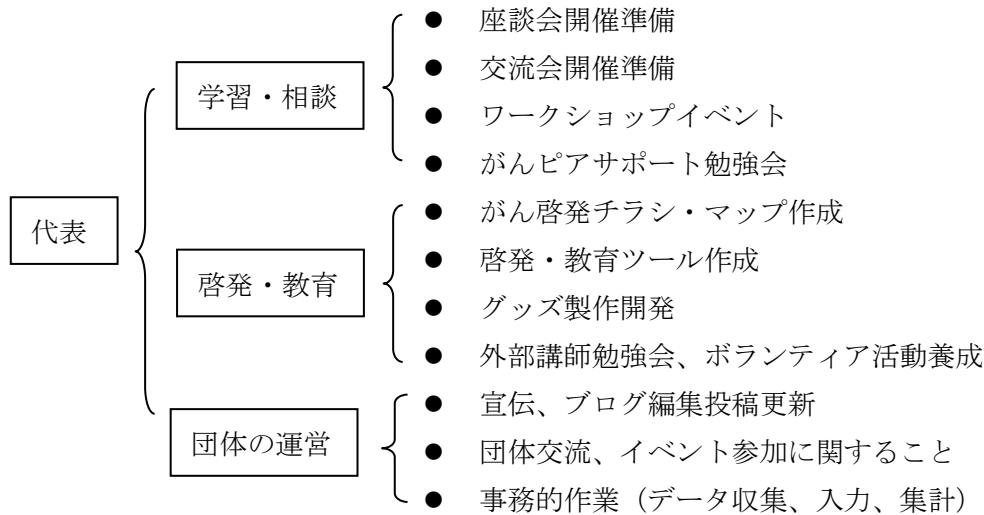
事業計画書

申請する事業の名称	がんサポートネットワーク事業	
事業の実施期間	令和2年 4月 1日 ~ 令和3年 3月 31日	
事業の概要	いつ・どこで・何を・どのような方法で行うかを記入してください	
月	実施する内容・方法	場所・参加者等
4月 5月 6月	<p>1. 活動・啓発ツールの作成</p> <p>① 団体パンフレット作成 (3,000部)</p> <p>② ブログ立ち上げ開始</p> <p>③ 情報発信、活動内容、イベント、マップ等</p> <p>④ ワークショップ、勉強会・講習会資料</p> <p>パンフレット原稿作成：5月までに外部座談会開催日を決定</p> <p>ブログ掲載内容を検討、年間計画の発信、随時掲載</p> <p>PR活動開始：完成パンフレット配布、ブログに配布場所の公開</p> <p>山口市内近隣病院（山口赤十字病院、山口済生会総合病院、小郡第一総合病院、すえながクリニック等）調剤薬局、山口県庁（医療対策課、健康増進課、学校安全・体育課）山口市役所（健康福祉部）協力支援機関（患者会、予防保険協会、病院医師会、看護協会）</p>	<p>役員5名参加</p> <p>役員5名参加</p> <p>役員5名参加</p>
7月～	交流会活動のブログ掲載開始	役員5名参加
5月 ～3月	<p>2. 座談会、交流会、ワークショップ開催</p> <p>外部向け座談会、がんピアサポート相談交流会</p> <p>① 座談会（8回）</p> <p>月1回、2時間程度</p> <p>市民活動支援センター会議室利用、10人から20人程度</p> <p>がん経験者、がんに関心のある人が気軽に集まって安心して思いを話し、情報共有できる場を設ける。</p> <p>② 交流会（10回）座談会開催日に実施</p> <p>月1回、9:30～16:00</p> <p>予約なし、無料、ボランティアスタッフが随時対応</p> <p>③ ワークショップ（2回）</p> <p>年2回、（11月、1月）</p> <p>ケア帽子作成・手作りマスク作成、ハンドマッサージ</p> <p>④ 勉強会・研修会参加</p> <p>勉強会、がんピアサポート、ボランティア養成研修</p>	<p>さぼらんて</p> <p>役員5名参加</p> <p>10名程度</p> <p>役員5名参加</p> <p>さぼらんて</p> <p>10～20名程度</p> <p>役員5名参加</p>
10月	がん患者団体との交流、各種イベント参加企画書作成（RFLJやまぐち、ピンクリボンイベント、健康福祉まつり等）	役員5名参加
2月 3月	<p>3. 今年度反省と次年度計画の検討作成、総会議案検討</p> <p>総会開催</p>	<p>役員5名参加</p> <p>役員5名参加</p>

事業の実施体制

事業における団体内部の役割分担について記入してください

会員内で必要となる人員についてチームを組み、イベント、ワークショップ等に展開していく。



事業を行うことで期待される成果等

◆事業実施による成果（事業を行うことでどのような成果が生まれるかをしてください）

- 団体の紹介、パンフレット・チラシの配布、ブログの開設により地域内外に支援交流の認知、交流の輪を広げることができる。
- 企業とのつながりを広げることで、団体の情報公開、啓発活動の積極的になり、社会の課題である健康経営にも目を向けられ、共に取り組むことができる良い機会となる。
- 行政機関との協力を求めることで、地域内外の活性化に役立てる。
- がん患者だけでなくがんに関心のある一般参加により、立場を同じくして考えることができる。
- 協力団体との連携を図ることで、個々の団体課題に対し共に取り組むことができる。
- 必要な支援の掘り起しにより、対象者への課題解決に繋げていくことができる。

◆今後の展望（助成対象期間終了後、この事業の成果をどう活用し発展させていくかを記入してください。申請事業に数年間の活動計画がある場合には、今後の予定について記入してください）

- 今回制作したパンフレットは団体の広報ツールとして地域内外に配布、活動開始の周知・定着に努めていく。
- ブログは定期的に更新していき、活動区域を広めて活用できるように情報発信を行う。
- 座談会、交流会を広めていくことで、がんに関心を持つことを一人でも多く知ってもらう。
- 参加することにより、がんに知らない世代にもがんに向き合うことの大切さを知ってもらい、参加することで実際に伝えられることがある事を実感してもらう。
- 体験を通して感じたことの伝えたい部分が継続していける社会となれるように実施する。
- がんの知識を広げることで、がんについて理解して正しい知識路情報と判断ができる。
- がんになっても前向きになれる居場所を作ることにより、自分らしく生きられる社会にしていく。
- 今後 NPO 法人化（認定 NPO 法人）も検討できる存在となれるように情報の収集や研修をしていく方向性を持っている。

(別紙3)

表は適宜拡大してください

(1) 収入 事業収支予算書 (単位: 円)

科目	予算額	内 訳	
		内容	積算根拠
① 当財団助成金	100,000 円	きらめき活動助成事業助成金 (㊸×1/2) ※千円未満は切捨	
② 他機関・団体補助金・助成金	0 円	別の助成金	※申請未定
③ 寄付金・協賛金	40,000 円	駐車券	@50×100 枚 (役員以外)
		黄色いレシート	※下期申請予定
		寄付、協賛金	※30,000 円見込み
④ 広告料	0 円		
⑤ 自己負担金	40,000 円	お茶代	@500×10 回
		啓発活動	※35,000 円見込み
⑥ その他	30,000 円	啓発グッズ販売	@300×100 個 ※自己負担金
⑦ 入場料等収入	5,000 円	会費 (役員)	@1,000×5 人
		賛助会員	@1,000×※未定
⑧ プログラム売上等収入	25,000 円	ワークショップ	@500×50 人
収入合計 (㊸)	240,000 円		

(2) 支出

科目	予算額	内 訳	
		内容	積算根拠
⑨ 謝 金	10,000 円	有償ボランティア	@500×20 人 (役員以外)
		講師謝金	@
⑩ 旅 費	0 円	講師	@
⑪ 消耗品費	125,000 円	がん情報ギフト	30,000 円 (がん冊子資料セット)
		事務用品、	10,000 円事務用品
		名刺	10,000 円役員名刺@2,000×5 人
		インクカートリッジ	10,000 円@5,000×2
		ワークショップ	10,000 円@200×50 人 (タオル、マスク手芸品、ハンドマッサージ用クリーム)
		啓発グッズ	50,000 円@50×1000 個
⑫ 印刷費・広告宣伝費	21,000 円	パンフレット	18,000 円@6×3,000 枚
		イベントチラシ	3,000 円@6×5,00 枚
⑬ 備品費	20,000 円	情報提供書籍	20,000 円
⑭ 通信運搬費	20,080 円	郵送料金	10,080 円@84×120 通
		通信料	10,000 円@1,000×10
⑮ 会議費	0 円	講師昼食代金	
⑯ 使用料・賃借料	0 円		
⑰ 設営費・舞台費	0 円		
⑱ その他の経費	25,000 円	駐車券	5,000 円@50×100 枚
		イベント保険	10,000 円@2,000×10 回
助成対象となる支出計 (㊹)	221,080 円		
助成対象外支出計 (㊺)	18,920 円	イベント茶菓子 10,000 円@100×100 人、ボランティア活動保険 2,500 円@500×5 人、イベント開催時役員弁当 2,500 円@500×5 人、イベント出張費 3920 円 (周南市往復 3 回分)	
支出合計 (㊹+㊺)	240,000 円	※収入合計と支出合計は一致すること	

事業収支予算書を記入する場合の注意事項

*この表には申請する事業の経費のみを記入してください

「①当財団助成金」(助成金申請額)の算出方法

(助成対象となる支出計⑥) × 助成率 (1/2) ※金額は千円単位とし千円未満は切捨

- 「②補助金・その他の助成金」の内訳欄には、当財団以外の交付元団体別に額を記入してください
- 「⑦入場料収入」とは、音楽・演劇・ミュージカル等の公演や展覧会・上映会において入場者から徴収する料金や、知識や技能習得のためのセミナー等において、参加者から受け取る参加料をいいます
- 「⑧プログラム売上等収入」とは、公演や展覧会等においてプログラムや目録等を販売した場合の売上金をいいます
- 「内訳」の「内容」欄には経費の明細項目を、「積算根拠」欄には、具体的な数値(単価×員数・回数・個数等)を記入してください。5万円以上の物品を購入する場合は、根拠となる見積書や価格表の写しを添付してください
- 「助成対象となる支出計⑥」には、助成対象となる経費のみを記入してください
- 「助成対象外支出計⑦」には、助成事業全体の経費のうち、助成対象とならない経費(家賃や光熱水費等の運営費、食糧費や講師への手土産代、委託費等)を記入してください
- 助成対象とならない経費については、「募集案内」や「申請の手引き」を参照してください